

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスL・フラット福島A		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月1日 ~ 令和8年 2月20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和8年 2月1日 ~ 令和8年 2月20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童に合わせた支援内容を指標を用いて専門的に分析し計画に反映していく事ができる事。	指標を使いより具体的に、実践的に課題に取り組みめるよう計画を実施している。 児童と自身の課題について話し合い必要な取り組みである事を十分説明し、理解した上で実施している。	より多くの課題に対して対応できるよう事業所内における療育計画を充実させていき必要時、すぐに計画に反映し取り組みを決定していく体制を整えていけるようにする。
2	保護者のニーズと児童それぞれの課題を照らし合わせ優先順位の高い物から計画的に実施していく事で求められる結果へと繋がりがやすい事。	日々、Lineなどを活用し保護者が相談しやすい環境を整え日常での困りごとなどを優先して療育に組み込んでいけるようにしている。	保護者からの相談内容についてはスタッフ間にて共有し優先度については事業所内にて支援計画作成の話し合いの際に決定していく。
3	保護者のニーズに応じて柔軟な受け入れ態勢を整えている事。	日程についてはLineなどを活用し予定変更に対しても柔軟に対応している。 学校休校日の利用時間に関しても保護者の意向に沿った形で支援時間を確保出来るよう事前に保護者との協議を行っている。	利用日数の問題などにより支援を実施する事が難しい日もある為、日中一時や学童保育との連携を図り利用日数の調整を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	より専門性の高い支援を提供していくにあたり研修や勉強会参加への達成状況からスタッフ間での技量に差がでてしまう事。	スタッフ個々の目標設定が明確でなく達成状況に対する事業所内の評価方法が明確でない事。	新人研修スタート時から効果的な研修プログラム・勉強会を提示し実行していく。 スタッフの年度ごとの目標設定を明確にし達成に必要な取り組みについて精査する事が出来るようになる。 事業所内の評価方法を見直しスタッフの目標達成に対する意識を高めていく。
2	保護者間での情報の共有により進学や進級に対する不安や考えを軽減させていく事が出来ていない。	保護者会や保護者同士の交流の場を計画する事が出来ておらず実現出来ていない為。	個人面談ではなく必要時、保護者交流会の場を設け保護者の方の考えを保護者同士で共有する事が出来るようになる。
3	外部への情報発信力が不足しており事業所内における取組を十分に提示出来ていない。	情報発信に対するスキルを持つスタッフが乏しく日々の内容を発信していくには経験不足である為。	外部への委託も検討しながら日々の活動内容を積極的に発信していく事が出来るよう整えていく。